

この森の目指すコンセプト…BPの提唱する森づくり 「野外は教場である」の教え

■林業伐倒作業事故が多く報告されています。この森を整備切り開く作業の安全確保の資料を書き留めましたので、一読いただき 安全よし！ お願いします。

エンジンチェーンソーで大径立木を伐倒する基本方法

伐倒は簡単に言うと以下の3ステップで行います。

①受け口をつくる。

受け口とは、図のように三角に切ることによって木を倒す方向を決める大事なカットです。

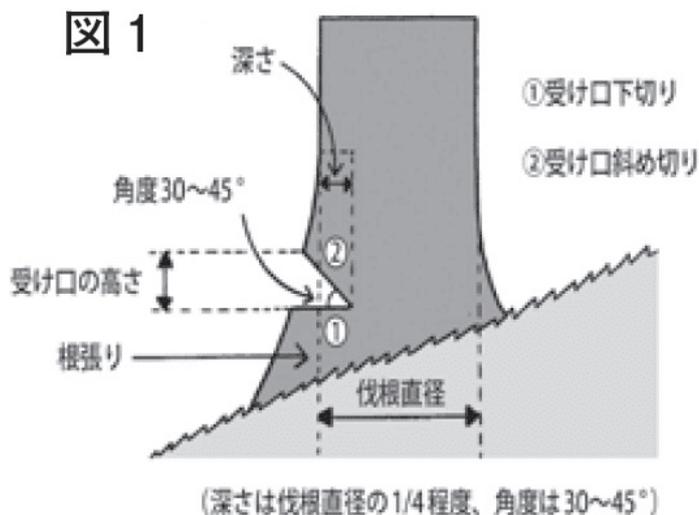
②追い口を切る。

追い口とは、①の反対側から木を切り、木を倒すためのカットです。

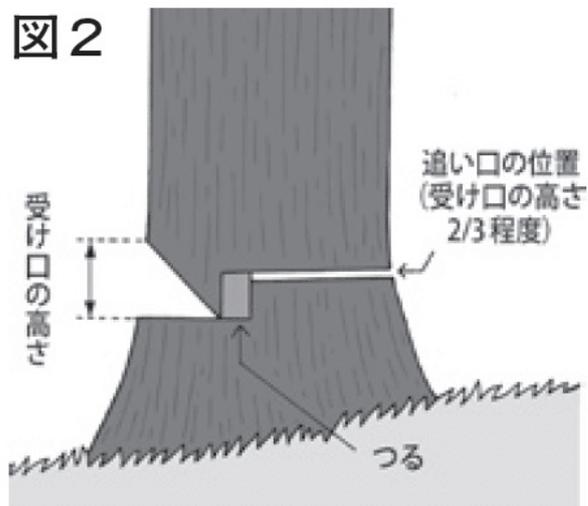
ここにも位置など色んな注意点があるのですが、ここでは割愛します。

③追い口にクサビをハンマーで打ち込みます。

細い木だと②までで倒れます。



受け口切り



追い口切り

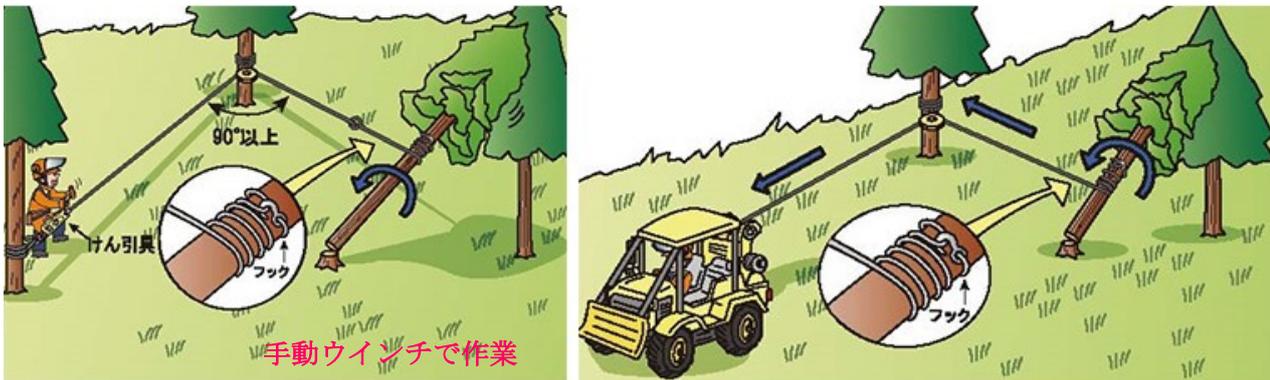


かかり木処理の安全について

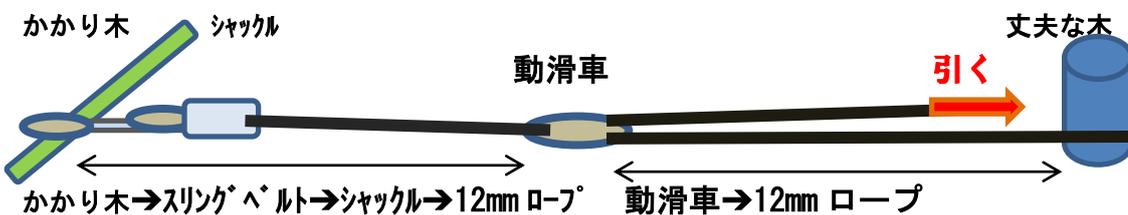
㊟ 林業作業の中で事故が一番多いのが「かかり木」処理の時です

かかり木の処理は、細心の注意を払って作業しましょう。かかり木の処理は、伐倒作業の中で最も危険な作業の一つです。まず、かかり木とならないよう、正しい手順による伐倒が大切です。

かかり木となってしまったときは、安易な対応を避け、慎重な処理に心掛けてください。手に負えないと判断したときは、熟練者に依頼することが適切です。

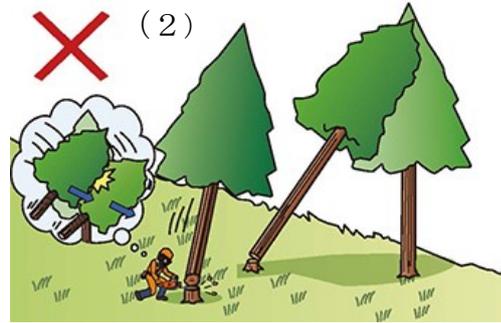
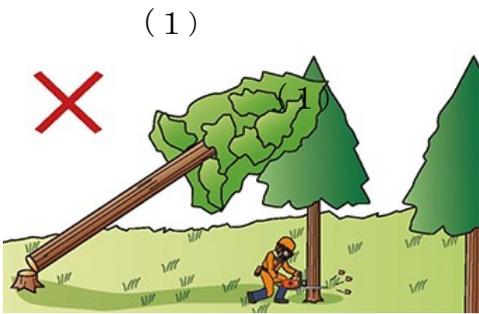


牽引力を動滑車を使って2倍にする



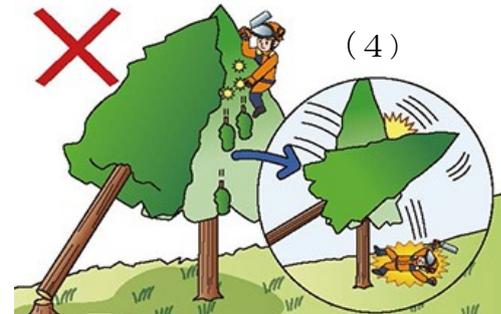
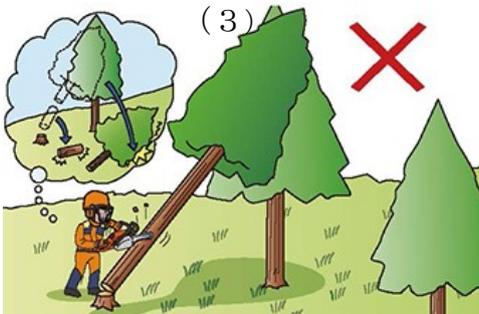
(1) かかられている木の伐倒

かかり木がいつ落ちてくるかわからず、大変危険です。



(2) 投げ倒し（浴びせ倒し）

伐倒木が予期しない方向に跳ねたり、二重のかかり木になるなど大変危険です。

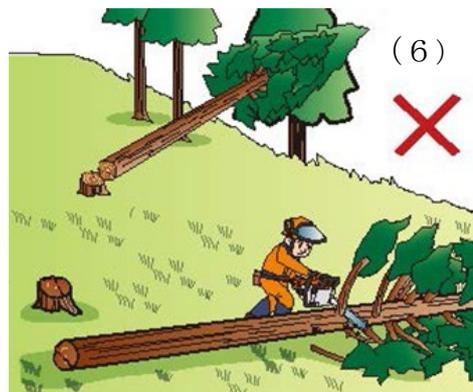
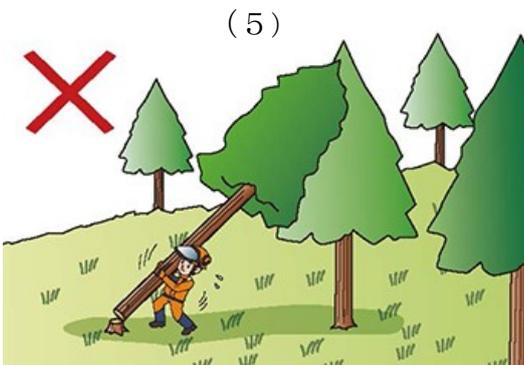


(3) 元玉切り

かかり木の元玉を造材も兼ね切り離す方法です。切り離したとき、かかり木が落下したり、滑落したりして危険です。

(4) かかられている木の枝切り

かかられている木に登り、枝を切って外す方法です。かかり木が外れるときに作業者が転落することがあり危険です。



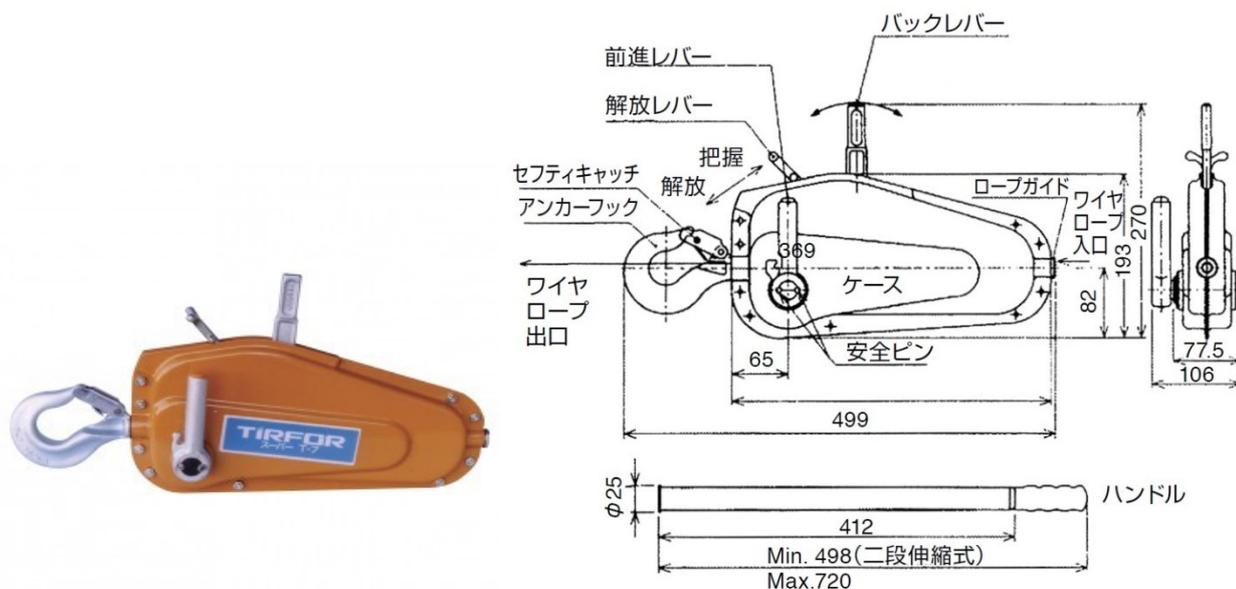
(5) 肩で担う

かかり木を肩で担うと、木の重量が作業者にかかり、外れた木が滑落して転倒したりします。

(6) かかり木の放置

放置したかかり木の下で作業している作業者の上に落下する危険があります。また、かかり木から離れるときは、他の作業者が近づかないように表示をしておきます。

チルホールとは、手動式の小型ウインチのことで、機械本体にワイヤーをセットしてレバー（ハンドル棒）1つの操作で重量物を牽引でき、縦・横・斜め、どの方向にでも自由に重量物を引っ張れる汎用性の高い工具です。土木建設関係では型枠の吊り上げやあらゆる建築工法に、林業関係では緊張や転落材の引き上げに、運輸関係では重量物の運搬や陸送車の積み込みなどに利用されています。個人所有（植木）型式T-7について説明する。



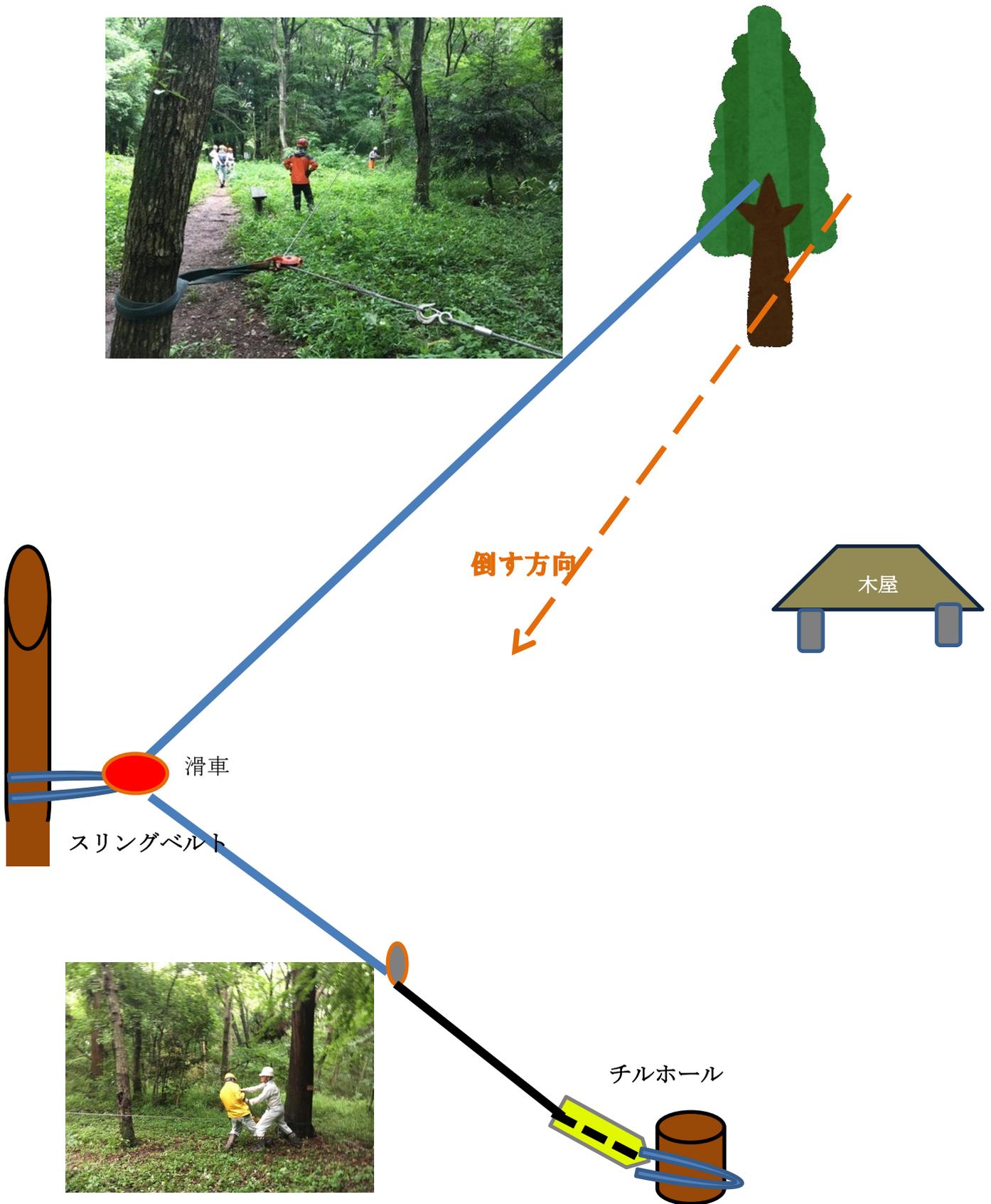
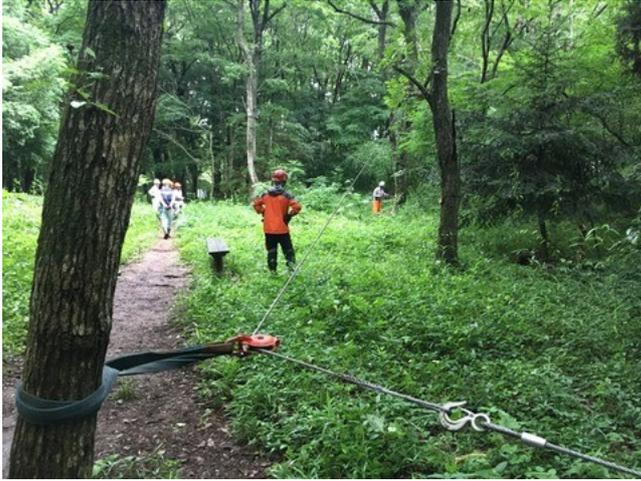
準備する道具 伐採する木の種類や大きさにより準備する道具は変わる



- 基本
 型式 T-7
 能力 750kg
 ロープ径 8.3mm
 重量 7kg
- チルホール本体
 - 専用ワイヤー（通常20M）
 - 専用バー
 - スリングベルト2本
 - 滑車 1個



2つの安全ピンは、無理やり前進レバーを動かすと割れて飛びます



まとめ

P-1 ~ P6 作業に必要な最低限の器具・道具・物品は個人装備品で所有していますので相談を掛けて下さい。貸し出しも検討します。

<チェーンソー・チルホール・かかり木対応道具 各関係道具、用具、燃料> 植木